

# 新「光市民憲章」を制定

市は、10月2日に新「光市」における新「光市民憲章」を制定し、同日開催の新「光市」誕生1周年記念式典において、小・中学生代表5人による「未来に向けたメッセージ」にあわせ発表を行いました。

## 市民憲章とは...

市民憲章は、市民一人ひとりが主体的かつ実践的に「理想的なまちづくり」に参加するための行動規範で

あり、また、市民生活の規範となるものです。

さらに、まちづくりの根幹的な基本指針として、総合計画などの各種計画の策定には欠かせないものです。

## 新「光市民憲章」の内容

市民憲章は、「前文」と「本文」からなり、「前文」は、市民のふるさと光市への想いや行動指針としての市民憲章に寄せる想いなどを表し、「本文」は、5つの条文により市民の実践項目を表しています。

- 第1項目 自然敬愛、自然愛護、環境美化などに関する条文
- 第2項目 心身の健康、スポーツ、文化、若い力、生涯学習などに関する条文
- 第3項目 福祉、健康、交流、助け合い、ふれあいなどに関する条文
- 第4項目 働く喜び、社会活動への参加、まちの活気や発展などに関する条文
- 第5項目 人権尊重、安全・安心、信頼と敬愛、やさしさ、思いやりなどに関する条文

## 実践活動に努めましょう

明るく住みよい理想のまちの実現には、小・中学校の行事や各種会議の開催などでの唱和運動をはじめ、市民一人ひとりの日常生活の中で、この市民憲章に基づきながら、具体的な実践活動を進めていくことが大切です。

今後、市では、こうした市民憲章の普及・啓発を進めていくため、ポスターやカード、チラシなどを作成し、学校や公民館などの関係機関に配布する予定です。さらに、市民憲章の幅広い実践活動を進めるにあたって、小・中学生などの児童・生徒に対する「指導の手引き」の作成や、市民に対する具体的な推進に向けた啓発用資料などを作成・配布することとしています。

問合せ 生涯学習課 0833-743604

## 光市民憲章

わたくしたちのまち光市は  
美しい自然と輝かしい歴史をもつ  
希望のまちです。  
わたくしたち光市民は  
その名のごとく  
光あふれる理想のまちとするために  
この憲章をさだめます。

- 1 ふるさとの自然を愛し  
花と緑の豊かな まちをつくりましょう
- 1 ところとからだをきたえ  
文化のかおる まちをつくりましょう
- 1 あたたく互いに助け合い  
笑顔のあふれる まちをつくりましょう
- 1 たのしく働き ものを大切に  
活力のある まちをつくりましょう
- 1 きまりを守り 人をとうとび  
しあわせな まちをつくりましょう

## 小・中学生5人の 未来に向けてのメッセージ

(要約)

**弘中颯子**さん(岩田小学校6年)  
すばらしい自然に囲まれた私たちのまち光市。この美しい環境を、私はいつまでも残していきたいと思います。  
そのためには、私たち一人ひとりが、まちにごみを捨てないこと、小さな花も大切にすることを心がけ、ふるさとの自然を守っていききたいと思います。

**川部 純**さん(室積小学校6年)  
ぼくの夢は、科学者になることです。そのためには、たくさんのことを学ばなければなりません。また、一つのことを追求し続け、新しいものを生み出すには、強い体をつくり、強い心をつくるのが大切です。  
これからも、夢の実現に向かってがんばっていきます。

**新山美帆**さん(浅江小学校6年)  
困っている人を見かけたら、いつでも助けてあげましょう。今まで以上に明るい挨拶をしましょう。家庭や周りの人とのふれあいや対話を広げましょう。「ありがとう」という感謝の言葉が自然に生まれるまちが私の理想です。すてきなまち光市になるように、私は努めていきたいと思っています。

**藤中隆広**さん(大和中学校2年)  
人と人との心のつながりや、光市にしかない「もの」を大切にしていくこと、そして夢を持って生きていくことが、賑わいと活力みなぎるまちづくりにつながっていくのではないのでしょうか。  
私は、そのようなまちづくりに貢献できる人間になりたいと思います。

**中野千亜子**さん(浅江中学校3年)  
幸せをみんなと分かち合うために、私たちに必要なものは、一人ひとりが社会のルールを守ることです。ルールというと堅苦しいようですが、その根本にあるものは、お互いの心、人権を尊ぶやさしさです。このすばらしいふるさと光市がいつまでも笑顔で光り輝いているようなまちにしていきたいです。

# 新市の木と花が決定

市では、新「光市」誕生1周年を記念して、多くの市民の皆さんから愛され、親しんでいただけるよう「市の木・市の花」の募集を行いました。市の木には478人から27種、市の花には482人から31種が寄せられました。その後、市民10人で構成する「市の木・市の花選考委員会」の協議を経て、市の木は『クロマツ』、市の花は『ウメ』に決定しました。

『クロマツ』は、「日本の白砂青松100選」や日本の名松100選などに選定された室積・虹ヶ浜両海岸を代表するもので、光市のイメージに合致

していること。また、長年、多くの先人から、引き継がれてきた親しみのあるものであり、後世に引き継ぐべき市民共有の大切な財産であること。『ウメ』は、「光市の持つ、さんさんと降り注ぐ陽光の下、白砂青松をはじめ豊かな自然を有する明るいまちのイメージ。また気候風土に順応した植物で、生活に密着し、比較的栽培が容易、開花期が長く、香り・花・実・木と多様に楽しむことができる。さらに、初春の名所となった冠山総合公園梅の里の梅まつりや、公園整備による波及効果が期待できる。」などから選



市の花 ウメ



市の木 クロマツ